



生活指導通信

No. 5

《学校生活の様子について》

2学期が始まり、生徒たちの元気な声が校内に戻ってきました。幸いにも大きな事件・事故の報告もなく、無事に新学期をスタートできましたことを心より嬉しく思っております。終業式で話をした夏季休業中に落としてはいけない4つのものについて生徒の様子はいかがだったでしょうか。特に学力については各学年で学習への意識付けが違います。1年生は復習。2年生は1年生の総振り返りと2年生になって分からなかったことの確認。3年生は1・2年の復習や受験に向けた実践的な学習が必要となります。マルチタスクの話も紹介しましたが、保護者の皆様も勉強をしている内容や学習方法について効率よくできているか等、見守りとアドバイスをお願いします。



さて、2学期は学校生活にも慣れが出てくる一方、長期休業明けということもあり、心身のリズムが乱れやすい時期でもあります。本校としても生徒一人一人の変化を丁寧に見守ってまいります。ご家庭におかれましてもお子さまの様子に気になる点がございましたら、遠慮なく学校までお知らせください。

《引き渡し訓練実施》

引き渡し訓練へご協力・ご参加いただきありがとうございました。緊張感のある中、迅速に引き渡しまで完了をすることができました。生徒には開始前、いつ起こるか分からない地震や災害について、常に備えておくことの大切さと、災害時にもし家族と離れ離れになった時の集合場所を決めておくこと、災害時、平常時も含めて登下校の際に危険な場所がないか保護者の方と確認をしておきましょう、と話をしました。地震や災害はないことを願うばかりですが有事の際は生徒の安全を第一に考え、引き渡しをお願いをすることがあります。今回の訓練を生かし、何かあったときにはご対応をお願いします。



《持ち物について》

腕時計を持ち込みたいと問い合わせがあり、検討をした結果、時間に関する意識が高まればよいということで所持を許可することにしました。貴重品扱いになるので破損や紛失に気を付けてください。原則、自己管理とします。また腕時計のタイプは時間が分かる機能だけとし、スマートウォッチのような機能が付いていないものとします。体育の時間、その他指示があったときは外させます。

本番でふだんの実力を発揮するために

練習ではうまくいったり、ふだんの小テストでは点数がとれたりするのにいざ試合やテストになるとふだんの実力を発揮できないという生徒が多いです。最近読んだ本（本番に強い子の育て方[ディスカバー・トゥエンティワン 森川陽太郎]）によると実力を発揮できない子の大半は緊張＝悪いものだと思っていることが原因とありました。

緊張をすることは悪いことではなく自然な感情なのでそれを受け入れることから始めることが大切とありました。大人の関わり方としては子どもの日々の小さな目標を確認し、それが達成できたときはとことんほめることが必要とありました。そうすることで子どもの自己肯定感が上がります。本の最後にはまとめとして「緊張していてもできた」という経験を積むことが大切だと書かれていました。これから受験や大会等で使える考え方だと思い紹介させていただきました。

